

重版買切案内

2025年5月28日刊行予定

日本キリスト教団出版局

井上洋治著作選集2 余白の旅 思索のあと

品切れ本
重版出来



井上洋治 (いのうえ・ようじ)

1927年、神奈川県に生まれる。東京大学文学部哲学科を卒業。1950年、フランスに渡り、カルメル会修道会に入会、修道のかたわらリヨン、リールの各大学で学ぶ。1957年カルメル会を退会し、帰国、1960年、司祭となる。1986年より「風の家」を創める。2014年3月8日逝去。

やまねみちひろ

山根道公 編・解題

おのでら いさお

小野寺 功 解説

若き日にフランスに渡り、修道会での日々と大学での学びを重ねた井上神父。そして、生きる意味を見出せない苦悩から、《日本とキリスト教》という重い命題を背負って帰国。生きとし生けるものを生かす「余白」から吹きぬけてくる風を、聖霊と捉えるまでの思索を明かす。

A5判・並製・242頁・定価2,200円（本体2,000円＋税）

ISBN978-4-8184-5150-6 C0016



【注意】重版に伴い以下の変更点があります。

①価格改定しています（本体2,500円 → 本体2,000円）

②仕様を変更しています（上製 → 並製） ③ISBNを変更しています（下5桁 0912-5 → 5150-6）

重版買切案内

2025年5月28日刊行予定

日本キリスト教団出版局

井上洋治著作選集10

品切れ本重版出来

日本人のためのキリスト教入門

井上洋治著作一覧

やまねみちひろ
山根道公

編・解題

わかまつえいすけ
若松英輔

解説



井上洋治（いのうえ・ようじ）

1927年、神奈川県に生まれる。東京大学文学部哲学科を卒業。1950年、フランスに渡り、カルメル会修道会に入会、修道のかたわらリヨン、リールの各大学で学ぶ。1957年カルメル会を退会し、帰国、1960年、司祭となる。1986年より「風の家」を創める。2014年3月8日逝去。

慶應義塾大学における講義を『日本人のためのキリスト教入門』として単行本化。日本人に響く言葉でキリスト教をわかりやすく解説する。さらには、「井上洋治著作一覧」、高橋たか子氏のエッセイ、佐藤優氏の書き下ろしエッセイも併せて収録。充実した一冊。

A5判・並製・252頁・定価2,200円（本体2,000円＋税）

ISBN978-4-8184-5151-3 C0016

【注意】重版に伴い以下の変更点があります。

①価格改定しています（本体2,500円 → 本体2,000円）

②仕様を変更しています（上製 → 並製） ③ISBNを変更しています（下5桁 0960-9 → 5151-3）





あしたは必ず来る

明治から現代までのファミリーヒストリーを辿りつつ

湊 晶子 [著]



戦前、戦中、戦後を駆け抜けた、五代目キリスト者がつづる愛と希望のメッセージ。国際基督教大学、東京基督教大学、東京女子大学、広島女学院大学などで、キリスト教信仰に立脚した人格教育・女子教育に従事してきた著者の自伝と家族史(ファミリーヒストリー)。

【目次】

- 第1章 戦前・戦中・戦後を生きて
- 第2章 明治・大正・昭和をキリスト者として生きた家族たち
- 第3章 激動の92年を生きて——いま、書き残したいこと
- 附論 「現代のキリスト教学校教育と家庭教育に期待するもの」

❖著者 湊 晶子 1932年生まれ。東京基督教大学教授、東京女子大学教授・学長、広島女学院大学院長・学長などを歴任。著書 『女性を生きる』『女性のほんとうのひとり立ち』ほか多数。

A5判・並製・112頁・定価1,100円(本体1,000円+税) ISBN978-4-7642-9210-9 C0023

新教出版社 新刊案内 2025 年 5 月 23 日発売

あかりを灯しつづけて 37 年

大野顯二 [著]

四六判・並製・200 頁・本体 1300 円（税込定価 1430 円）

ISBN 978-4-400-51771-9 C1016

キリスト者であるとは、牧師であるとは、
ただそこにいることなのかもしれない。

兵庫県の小さな町。歴史があり、差別があり、人の営みがある。
そして教会が立っている。

牧師は町の人々と交わり、愚直に聖書の使信を語り続け来た。
時にはうつを患いながら……。

16 編の説教と、自らの歩みを振り返る 4 回の講演

「キリスト教に生き、キリスト教を生きる・成松」を収録。

【著者】おおの・けんじ氏は 1948 年、福島県生まれ。5 歳でキリスト教と出会う。高校 1 年で教会に通いはじめる。高校 3 年で献身の思いを抱く。日本聖書神学校卒業。以後、日本基督教団神戸栄光教会、小野教会、境港教会、成松伝道所で働く。



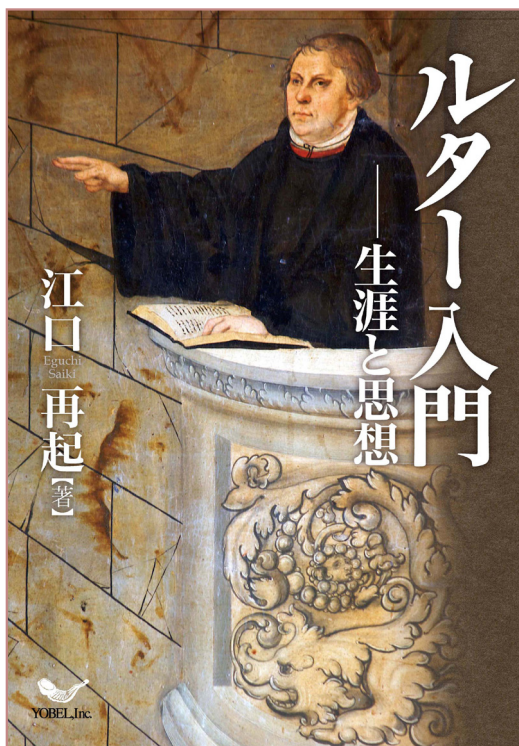


Eguchi Saiki
江口再起 [著]

ルター入門 生涯と思想



5月28日刊行予定



現代を生きる人間の視点をもって、
等身大のルターと対話する。

宗教改革者ルターの神学思想とは、実際のところいかなるものだったのか。「信仰義認」ではなく「恩寵義認」という言葉を敢えて用いつつルター神学の真髓を平易に解き明かす最適のルター入門書。ルターとペスト、ルターとヒトラー、ルターと親鸞など、興味深い対比によってルター像を多角的に照らし出す。

主な目次

- 1章 「95カ条」で宗教改革は始まった
- 2章 宗教改革前史
- 3章 落雷体験から修道院へ
- 4章 塔の体験
- 5章 改革運動の前進
- 6章 恵みの神学—ルターの神学思想(1)
- 7章 言葉の思想—ルターの神学思想(2)
- 8章 人間ルター
- 9章 カトリックとプロテスタント
- 10章 ルターと近代の文化

11章 ルターと近代社会

12章 ルターと親鸞

13章 それでも、リンゴの木を植える

—ルターと現代

コラム「ルターとペスト」

「ルターの紋章」

「ルターとヒトラー」

付論 「恩寵義認—ルター神学の核心」

「ドイツ宗教改革 略史」



ルターの紋章

ルターは、**薔薇と十字架の図柄**の紋章を著作の表紙に印刷させ、海賊版と区別する検印としていました。彼はこの紋章を「**私の神学の目印**」とし、紋章の周りに「**キリスト者の心は、十字架の真下にあるとき、薔薇の花に向かう**」と銘文を刻みました。

江口再起 (えぐち さいき)

1947年、佐賀県生。獨協大学、日本ルーテル神学大学（現・ルーテル学院大学）・神学校卒業、ドイツ・エルランゲン大学留学。日本福音ルーテル教会（博多、藤が丘）牧師、東京女子大学教授、ルーテル学院大学教授、日本ルター学会理事長を務める。現在、ルター研究所所長。
著書に『神の仮面——ルターと現代世界』リトン、『ルターの脱構築——宗教改革500年とポスト近代』リトン等がある。

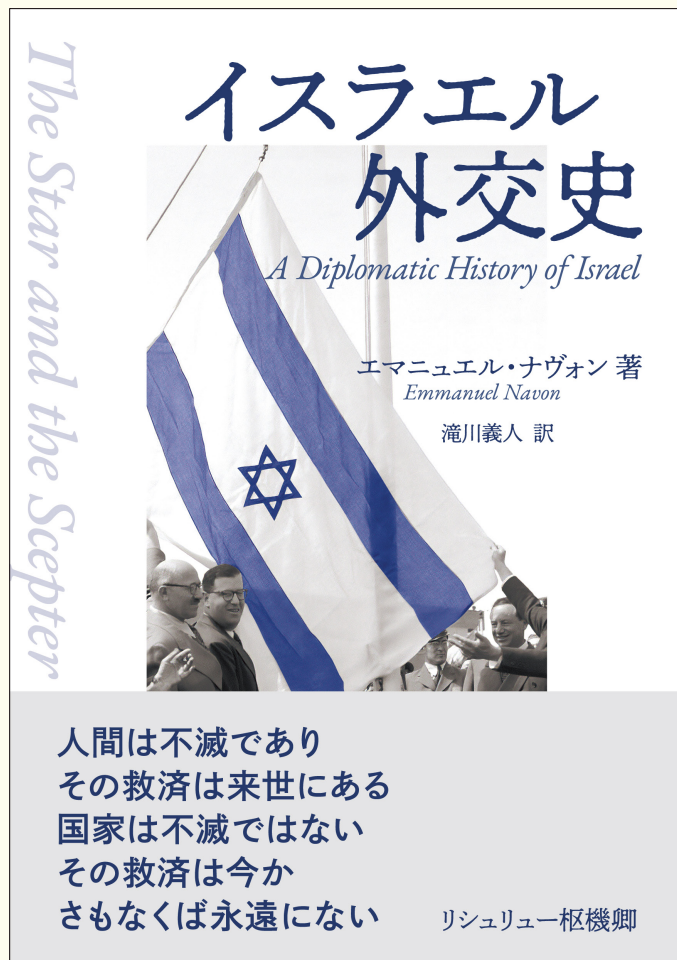
A5判・216頁・1,980円（税込）

本体1,800円＋税 ISBN978-4-911054-53-6 C0016

エマニュエル・ナヴォン〔著〕 滝川義人〔訳〕

A5 判・並製 424 頁 定価 3,300 円（本体 3,000 円＋税）

[ISBN 978-4-89586-169-4 C0022]



イスラエル 外交史

5月下旬
発刊予定

■ イスラエルは好戦的な国なのか

ユダヤ人の外交史を古代から現代まで幅広く網羅した包括的な作品。聖書の古代世界から始まり、21 世紀の現代に至るまで、ユダヤ民族・イスラエル国家が生き残りをかけて挑んできた“外交史”の舞台裏を掘り下げる。

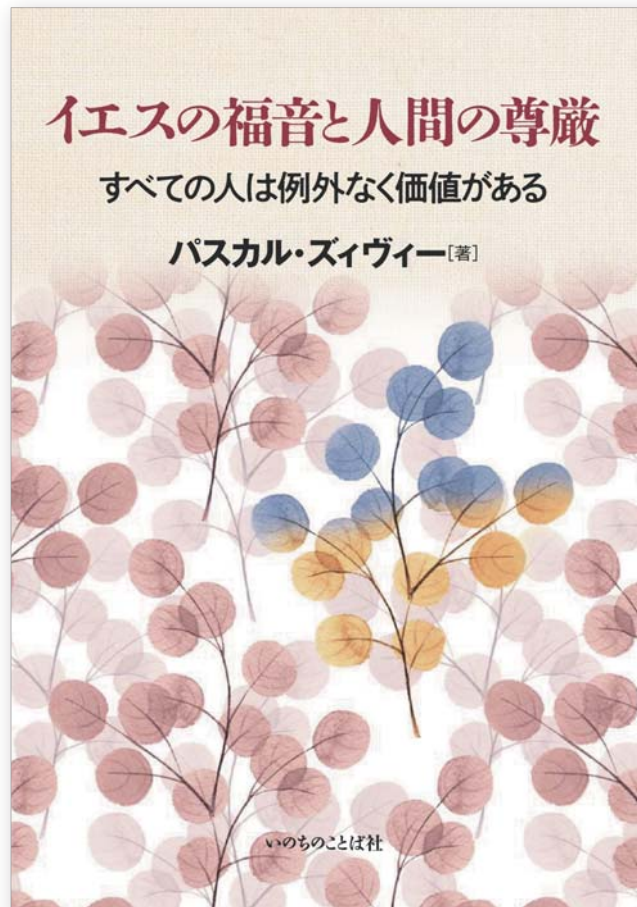
■ 最新の情報をアップデート

原書は 2020 年に出版、その後の 5 年間で情勢は大きく変化した——アブラハム合意（2020）、ハマス・イスラエル戦争（2023）、イラン直接対決、シリアのアサド政権の崩壊（2024）——日本語版は筆者がこれらの事件を加筆した最新版。

■ 世界各国との関係性を丁寧に分析

欧米やロシアはもちろん、中国、インド、日本をはじめとする東南アジア、アフリカや南米などの国々との関係を 1 つずつ取り上げ、交易、軍事協力、エネルギー政策など様々な分野での協力関係、あるいは敵対的な状況などを分析。

● Emmanuel Navon ● イスラエルを代表する国際関係問題の専門家。1971 年パリ生まれ、1993 年イスラエルへ移住。パリ政治学院卒業。ヘブライ大学で博士号（国際関係論）取得。現在テルアビブ大学政治学部および大学院アバ・エバン外交講座講師、エルサレム戦略・安全保障研究所（JISS）の主任研究員、ELNET・ISRAEL 会長。著書・論文多数、日本語の出版は本書が初。



A5判 44頁 定価550円(本体500円+税)
ISBN978-4-264-04586-1 C0016
いのちのことば社卸コード 29875

イエスの福音と 人間の尊厳

すべての人は例外なく価値がある

パスカル・ズィヴィー 著

いのちの尊厳は聖書とイエスの中心メッセージではないか。戦争や差別等によって蔑ろにされている尊い人命に目を向けることを訴える。ホロコーストにより多くの親族を喪ったユダヤ人である父親の思いを胸に、今日のガザ問題にも言及するキリスト者必読のブックレット。

パスカル・ズィヴィー

1957 年、フランスに生まれる。1980 年に来日。筑波でバートンリレイス宣教師、稲垣守臣牧師と出会い、クリスチャンとなる。カルト問題に直面し、カウンセリングに携わるようになり、1994 年、「マインド・コントロール研究所」を設立。現在、同研究所所長。著書『世界平和統一家庭連合・旧統一協会は何を教えているのか』『“あわれみ”の心 イエスの道』『「信仰」という名の虐待からの解放』（共著）など。



聖書解釈の リテラシー

神のことばを読み取る力

南野浩則 著

日本メノナイトプレザレン教団
福音聖書神学校教務、石橋キリスト教会副牧師

現代に「神の意志」を聴くために
文学的特徴や時代・文化の背景を知り
書かれたテキストの意図を読み解く

聖書の各書の執筆者たちは、それぞれの時代・社会に生きた人々に「神の意志」を伝えようと、さまざまな文学的手法を用いた。そこに書かれたテキストの意図を読み解き、現代に語る神のことばの意味を受け取る。

四六判 224頁 定価1,980円(本体1,800円+税)

ISBN978-4-264-04581-6 C0016

いのちのことば社卸コード 02065